

欧州特許庁、戦略計画2023を公表

2019年6月28日
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、2019年6月27日、同庁の今後数年間のビジョン等を示した戦略計画2023（Strategic Plan 2023）をニュースリリース及びプレスリリースにて公表した。

本戦略計画2023は、38のEPO加盟国、特許制度のユーザー、一般市民、知的財産庁及びEPO職員との2回のパブリック・コンサルテーションを経た上で策定され、2019年6月26日の管理理事会によって全会一致で採択されたものである。

本戦略計画2023は、「ミッション（Mission）」及び「ビジョン（Vision）」を示すとともに、これらを細分化した5つの「目標（Goal）」を達成することに焦点を当てている。また、各目標には、今後4年間に実施される予定であるいくつかの「主な取組（Key Initiative）」が含まれている。

本戦略計画2023の概要は以下のとおりである。

◆ ミッション：

「欧州の特許庁として、我々は、イノベーション、競争力及び経済成長を促進する高品質の特許及び効率的なサービスを、誇りを持って提供する。」

◆ ビジョン：

「我々は、知的財産における世界標準を定める力及び動機を職員に与える。我々の庁は、効果的で透明性があり、ユーザーのニーズに応え、かつ、ダイナミックなグローバル特許制度についての変化する需要及び状況に対応する上で迅速である。我々の仕事は、より安全で、よりスマートで、かつ、より持続可能な世界に貢献する。」

◆ 目標：

1. 仕事に専念し、知識豊富でかつ協力的な組織の構築：

(Build an engaged, knowledgeable and collaborative organisation)

➤ 取組の例：

- ・職員が職務上の最大限の潜在能力を発揮するための支援
- ・優秀な人材の発掘、採用及び維持

2. EPOのITシステムの簡素化及び近代化：

(Simplify and modernise EPO IT systems)

- 取組の例：
 - ・エンドツーエンドの電子的な特許付与プロセスを支援する単一のツール
 - ・特にアジアの文献及び標準に焦点を当てた先行技術データベースへの更なる投資
- 3. 高品質の成果物及びサービスの効率的な提供：
(Deliver high quality products and services efficiently)
 - 取組の例：
 - ・ユーザーが同意した品質の定義の導入
 - ・より柔軟な特許付与プロセスの導入
- 4. グローバルな影響を与える欧州特許システム及びネットワークの構築
(Build a European patent system and network with a global impact)
 - 取組の例：
 - ・加盟国の各国特許庁及び国際的なパートナーとの協力の強化
 - ・より多くの参加を促し、費用対効果の高いタイムリーな成果物の提供を確保し、かつ、協力活動の効果を最大化するために、EPO が提供する財政上及び運営上の支援の見直し
- 5. 長期的な持続可能性の確保
(Secure long-term sustainability)
 - 取組の例：
 - ・官民の利害関係者との議論及び分析のためのプラットフォーム「Observatory」の創設
 - ・二酸化炭素排出量の削減、エネルギー及び紙の消費の低減、並びに、プラスチックの排除

－ EPO のニュースリリースは、以下参照 －

[A vision of sustainability: European Patent Office publishes Strategic Plan 2023](#)

－ EPO のプレスリリースは、以下参照 －

[A vision of sustainability: European Patent Office publishes Strategic Plan 2023](#)

－ EPO の戦略計画 2023 は、以下参照 －

[Strategic Plan 2023 online](#)

[Strategic Plan 2023 \(PDF\)](#)

－ EPO の戦略計画 2023 に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 －

[欧州特許庁、戦略計画 2023 に関する最終的なパブリック・コンサルテーションを開始\(2019年4月25日\) \(PDF\)](#)

[欧州特許庁、戦略計画 2023 に関するパブリック・コンサルテーションを開始 \(2019年1月28日\) \(PDF\)](#)

(以上)